海の博物館 企画展のお知らせ

海の博物館 TEL 32-6006

展示

三重県立伊勢工業高等学校　建築製図・模型展
私たちの町の景色　～海と町、人と建築～

会 期 11月9日(月)～12月4日(金)　**料 金** 海の博物館の入館料

三重県立伊勢工業高等学校・建築科の生徒が制作した建築製図や模型を展示します。展示は、大きく2つのコーナーで構成されています。

1つ目は、「伊勢志摩・鳥羽・神島」の海と町を題材とした作品展示です。建築製図によるまちづくりの提案や、昨年度から取り組んでいる「伊勢市駅前ウォーカブル」の成果報告など、地域の魅力や課題を建築の視点から捉えた作品をご覧いただけます。

2つ目は、国立台南第一高級中学（台湾・高校）と伊勢工業高等学校が共同で進めている研究の成果をパネルで紹介します。台湾と伊勢志摩の風土や文化の違いに目を向け、両地域の建築や暮らしについて生徒たちが調査・考察した内容をまとめています。

生徒たちの作品や研究を通して、海と町、人と建築がつくり出す「私たちの町の景色」を感じていただければ幸いです。



展示作品

人権文化の花を咲かせよう

Vol.249

市民課人権・市民交流係 TEL 25-1126

インティマシーコーディネーター

最近、映画やテレビドラマなどのスタッフロールに「インティマシーコーディネーター」の記載を見ることが増えてきました。

インティマシーとは、英語で「親密」や「深い関係」を意味する言葉です。インティマシーコーディネーターは、映画やテレビドラマなどの作品の制作現場で、ヌードやシャワー、着替えの場面などの親密なシーンの撮影をサポートする役割を担っています。

インティマシーコーディネーターの活動は、2017年頃からアメリカで活発になってきました。アメリカ・ニューヨークタイムズ紙が、映画プロデューサーによる性暴力・性的虐待を告発する内容の記事を掲載し、それがインティマシーコーディネーターの需要の高まりに繋がりました。

日本で最初にインティマシーコーディネーターが導入されたのは2020年です。脚本を読んで場面をチェックし、監督のイメージを事前に確認します。そして、俳優の一人ひとりと、どこまで演技可能かを話し合います。作品によっては、出演者に対してLGBTQについて学んだり、性教育を受けてもらうようなコーディネートを行うこともあります。俳優が身体的・精神的に安心安全に撮影でき、なおかつ監督の意向が最大限発揮できるよう、俳優と制作側の間に入り、橋渡しを行います。

人権意識の高まりが、今までなかった新たな職業を生み出すきっかけになっているのです。

11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動期間」です。また、11月11日～12月10日は「差別をなくす強調月間」です。

市立図書館にて両運動の関連図書コーナーを設置し、おすすめ本一覧の配布とパープルリボンの展示を行いますので、ぜひご覧ください。

とき 11月13日㈭～12月10日㈭ 午前10時～午後6時

ところ 市立図書館入口付近